

羽ばたけ 大空へ

財団
月報

牧島凜太郎さん 全日本学生剣道選手権 大会で優勝！

7月23日、大学日本一を個人戦で争う第65回全日本学生剣道選手権大会がエディオンアリーナ大阪（大阪府）で開催され、鹿屋体育大学剣道部の牧島凜太郎さん（武道課程3年）が見事優勝を果たしました。

準決勝を延長戦の末勝ち上がり、迎えた決勝戦。相手は苦手とする上段構えの選手でしたが、試合中盤、相手の手元がわずかに上がった隙を見逃さずコテをたたき込み、一本勝ち。

牧島さんは、「昨年の同大会では3位で、目の前の勝利を逃してとても悔しかった。一年間その悔しさをバネに練習に励んだ結果掴み取ったこ



快挙！団体3連覇!! 全日本学生なぎなた選手権大会

8月6日、芸濃総合文化センター（三重県）において、第56回全日本学生なぎなた選手権大会が開催され、鹿屋体育大学なぎなた部が試合競技団体の部で見事3連覇を果たしました。

主将の水谷晴佳さん（スポーツ総合課程4年）は「先輩達が果たした2連覇を引き継がなければならぬ」と1年間ずっと考えていました。昨年の10月以降、この日のために練習内容を見直した基礎練習・応用練習の実施、大会の直前には学内では部員8名をフル活用してプレ試合を実施するなどして、本番に緊張しないようにと備えたのが功を奏したと思います。地域の方々、鹿屋体育大学の教職員及びOGのみなさんをはじめとする多くの方々からの応援がプレッシャーに負けない心の支えになり、優勝す



編集・発行／
公益財団法人 鹿屋体育大学
体育・スポーツ振興教育財団
〒891-2393 鹿屋市白水町1番地
鹿屋体育大学内
0994-46-4827（直）
編集兼発行人 風呂井 敬

学生挑戦プロジェクトに3件採用

鹿屋体育大学では、学生の叶えたいプロジェクトを募集し、その実現を支援することにより、学生の自主性、企画力、創造性を養うとともに、キャンパスライフの充実・活性化を図ることを目的に「鹿屋体育大学学生挑戦プロジェクト」を平成28年度から実施しています。

7月3日と11日に、一次審査（書類審査）を通過した6件のプロジェクトの二次審査（公開による発表会）が行われ、申請代表者がプロジェクト実現に向けた具体的な計画や、予算案について発表しました。大きな夢が盛り込まれた企画やキャンパスライフを充実させる企画などが熱く語られ、審査の結果、3件を採用することが決定し、採用されたプロジェクトへは、必要物品の購入や教職員によるサポートなどの支援が行われます。

また、年度末には成果報告会も予定されており、プロジェクトの活動内容・成果等を報告することとなっています。



採用されたプロジェクト

申請代表者	プロジェクト名
佐竹 凜道 (武道課程 4年)	保健体育授業実践の総合力向上プロジェクト ～専門家としての教師をめざして～
田中 陽 (スポーツ総合課程 2年)	教員になるための勉強会 ～集団討論、小論文の試験対策を通して～
佐藤 博幸 (スポーツ総合課程 2年)	平成28年度台風16号による大隅湖被害の復旧と 流木の再利用化

LL2教室を 多目的コミュニケーションルームへ改修

このたび、鹿屋体育大学では国際交流センター2階のLL2教室の改修を行いました。

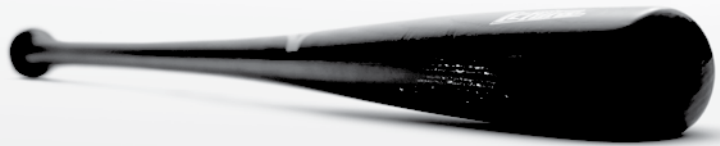
これまでのLL2教室は固定机にモニターとパソコンを設置したCALL教室でしたが、今回の改修により、タブレット端末の利用を想定したテーブル一体型の可動式椅子へと変更。電子黒板や複数の可動式ホワイトボードを設置するなど、グループワークをはじめとするアクティブラーニングに適した多目的コミュニケーションルームへと生まれ変わりました。



8月2日には教職員に対する同教室の説明会が行われ、吉重美紀国際交流センター長より改修の経緯等について話が合ったほか、同センターの国重徹教授より改修後の教室を活用した授業例の紹介などが行われました。

わかくさ

昔から音楽が好きで、趣味で楽しむ範囲ではあるが、ある楽器を長年演奏しており自分の楽しみの一つとなっている▼振り返ってみると、始めた頃は、練習すればするほど上達が実感できる時期がしばらく続いた。ところが、ある一定のレベルに達すると、練習量は以前より増えていたのに上達する速度が明らかに落ちる。あれこれ試行錯誤しても一向に上達せず、そうなるたびに練習するのも苦痛になるが、そこを踏ん張って工夫を重ねて練習し続けていくうちに、突然、できなかったことができるようになり、一段高いレベルに至る▼このような上達の過程は程度の差こそあれ、スポーツにおいても共通するのではないだろうか。実際、いろんなスポーツ選手のインタビューでこのような趣旨のことを言っているのを見たことがある。要は、分野を問わず、上達の過程は一直線ではなく、必ず訪れる停滞期にいかにか工夫を重ね、努力を継続できるかが、更に高いレベルに上ることなのだろう▼このようになことを考えたあと、自分と比較するのはおこがましいが、学内で接する学生さんたちに對して更に親近感を感じ、想いを馳せるようになった。



あなたと一緒に。
来る日も来る日も、練習に打ち込んだ。何度か壁を打ち破ってきた。そんなあなたを、誰より一番近くで見続けてきたから。
あなたがあんなに涙した理由も、あなたがあんなに笑顔をみせた理由も、わたしにはわかる。
成功の陰に失敗は尽きない。それでも。
明日は、きっと、できる。
そうあなたが自分を信じてわたしを手にする限り、あなたと一緒に挑み続けたい。

平成30年度学生募集のお知らせ ～推薦入試及び一般入試～

●推薦入試

1. 募集人員	体育学部	スポーツ総合課程	50人
		武道課程	20人
		合計	70人

2. 推薦要件

推薦入試に出願できる者は、次の(1)～(5)のすべてに該当する者とします。

(1) 次の各号のいずれかに該当する者で出身学校長が責任を持って推薦し得る者(既卒者については卒業後1年以内)

- ① 高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者及び平成30年3月卒業見込みの者
- ② 通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び平成30年3月修了見込みの者
- ③ 学校教育法施行規則(昭和22年文部省令第11号)第150条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び平成30年3月31日までにこれに該当する見込みの者

(2) 本学が定めた強化種目において、以下のいずれかの競技成績をあげた者

◎強化種目：[スポーツ総合課程]

陸上競技、体操競技、水泳、バスケットボール、サッカー(男子)、テニス、バレーボール、海洋スポーツ(セーリング、ローイング)、自転車競技[武道課程]

柔道、剣道、なぎなた(女子)

①スポーツ総合課程

(個人種目)

- ・全国大会ベスト16以上の競技成績を有する者
- ・公式ランキング16位以上の競技成績を有する者
- ・ブロック大会ベスト8以上の競技成績を有する者
- ・ブロック大会の種目別・団体総合ベスト8以上の競技成績を有する者(テニス、体操競技、駅伝)

(団体種目※)

- ・全国大会又はブロック大会に出場した競技成績を有するレギュラーメンバー
- ・ブロック単位での優秀選手、強化選手

※団体種目とは、バスケットボール、サッカー(男子)、バレーボールの種目を指します。

②武道課程

- ・全国大会ベスト16以上の競技成績を有する者(団体はレギュラーメンバーのみ)
- ・ブロック大会ベスト8以上の競技成績を有する者(団体はレギュラーメンバーのみ)
- ・ブロック単位での優秀選手、強化選手
- ・金鷲旗高校柔道大会又は玉竜旗高校剣道大会において連続15人以上勝ち抜いた者

(3) 当該スポーツ・武道の分野においてその活動を継続し、競技力の向上に努める者

(4) 調査書の全体の評定平均値が3.0以上の者

(5) 本学の教育課程を履修するための学力を有する者

3. 選抜日程等

出願期間	平成29年11月1日(水)～11月6日(月)
選抜日程	平成29年11月16日(木)・11月17日(金)
合格者発表日	平成29年11月29日(水)

4. 選抜方法

推薦入試は、出身学校長の推薦に基づき、本学が行う試験(小論文、面接及び実技検査)の成績、調査書、競技歴調書、推薦書の内容及び健康診断の結果を総合して選抜します。

なお、大学入試センター試験は課しません。

※実技検査の内容

下記のとおり課程別に指定した実技検査種目AからOまでの中の1種目を選択することになります。

ア. スポーツ総合課程

A 陸上競技 B 体操競技 C 水泳 D バスケットボール
E サッカー(男子)(フットサルを除く) F テニス G バレーボール
海洋スポーツ(セーリング：H ヨット I ボードセーリング、
ローイング：J ボート K カヌー) L 自転車競技

イ. 武道課程

M 柔道 N 剣道 O なぎなた(女子)

●一般入試

1. 募集人員	体育学部	スポーツ総合課程	60人
		武道課程	25人
		合計	85人

2. 出願資格

一般入試に出願できる者は、次の(1)～(3)のいずれかに該当し、かつ、平成30年度大学入学者選抜大学入試センター試験の教科・科目の中から本学が指定する3教科・3科目を受験した者

- (1) 高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者及び平成30年3月卒業見込みの者
- (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び平成30年3月修了見込みの者
- (3) 学校教育法施行規則(昭和22年文部省令第11号)第150条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び平成30年3月31日までにこれに該当する見込みの者

3. 選抜日程等

出願期間	平成30年1月22日(月)～1月31日(水)
選抜日程	平成30年2月25日(日)・2月26日(月)
合格者発表日	平成30年3月6日(火)

4. 選抜方法

一般入試は、平成30年度大学入学者選抜大学入試センター試験並びに本学が行う試験(面接、実技検査)の成績、調査書、指定調書の内容及び健康診断の結果を総合して選抜します。

※実技検査の内容

下記のとおり課程別に指定された実技検査種目又は運動能力検査(スポーツ総合課程のみ)で実施します。

(AからNの中から1種目を選択することになります。)

ア. スポーツ総合課程

A 陸上競技 B 器械運動 C 水泳 D バスケットボール E サッカー F テニス G バレーボール 海洋スポーツ(セーリング：H ヨット I ボードセーリング、ローイング：J ボート K カヌー)
L 運動能力検査(検査項目：自転車エルゴメータによる持久性テスト、垂直跳テスト、リバウンドジャンプテスト、敏しょう性テスト)

イ. 武道課程

M 柔道 N 剣道

5. 本学が課す平成30年度大学入学者選抜大学入試センター試験の教科・科目

- (1) 平成29年度以前の大学入試センター試験成績の利用は行いません。
- (2) 国語又は数学から1教科・1科目、地理歴史若しくは公民又は理科から1教科・1科目、外国語から1科目の合計3教科・3科目を受験していることが条件です。

なお、本学が指定する教科・科目数を超えて受験した場合は、高得点となる3教科・3科目を合否判定に用います。ただし、地理歴史及び公民並びに理科の試験時間において2科目を受験する場合には、第1解答科目の得点を用います。

教科	グループ	科目	教科科目の選択の方法
国語		『国語』	左記の2教科・7科目のうちから1教科・1科目を受験していること。
数学	①	『数学Ⅰ』『数学Ⅰ・数学A』	
	②	『数学Ⅱ』『数学Ⅱ・数学B』『簿記・会計』『情報関係基礎』	左記の3教科・18科目のうちから1教科・1科目を受験していること。ただし、「基礎を付した科目」については、2科目を受験していること。
地理歴史		『世界史A』『世界史B』『日本史A』『日本史B』『地理A』『地理B』『現代社会』『倫理』『政治・経済』『倫理、政治・経済』	
公民			左記の1教科・5科目のうちから1教科・1科目を受験していること。〔英語〕を選択する者は、筆記とリスニングの双方を受験すること。
理科	①	『物理基礎』『化学基礎』『生物基礎』『地学基礎』	
	②	『物理』『化学』『生物』『地学』	
外国語		『英語』『ドイツ語』『フランス語』『中国語』『韓国語』	

参加者は、実
験、実習や体育
施設等を肌で感
じることによ
り、本学への興
味・関心が一段
と深まった様子
でした。
なお、本年度
第2回目の大学
説明会は平成29
年10月に行われ
る予定です。

平成29年度第1回大学説明会及び体験授業を開催
鹿屋体育大学では、受験希望者とその保護者等を対象として、7月15日に平成29年度第1回大学説明会、翌16日に体験授業を開催し、全国各地から大学説明会に175名、体験授業には延べ89名の参加がありました。
大学説明会では、大学及び入試の概要などについての説明や在学生からのアドバイス、実験・実習体験を含む施設見学等を行い、翌日の体験授業では、2つの授業が開催されました。また、同窓会からの支援による学生食堂体験や課外活動団体のポスター展示も行われました。

(問い合わせ先)

〒891-2393 鹿児島県鹿屋市白水町1番地
鹿屋体育大学教務課入試係
TEL: 0994-46-4869 FAX: 0994-46-2515
E-mail: nyushi@nifs-k.ac.jp
公式ホームページ <http://www.nifs-k.ac.jp/>



体験授業の様子



大学説明会「在学生からのアドバイス」

大型二種免許から
大型二輪免許まで
取得可能です



鹿児島県公安委員会指定

KANOYA DRIVING SCHOOL
鹿屋自動車学校



入校日
毎週水曜日・土曜日
AM 8:30~9:00
PM 1:00~1:20

〒893-0057
鹿屋市今坂町10115番地
TEL(0994)43-4141

すべての消費者のために!!



守るべきは鹿児島の自然
伝えるべきは鹿児島の食文化

心にしみる...



小鹿酒造株式会社

鹿児島県鹿屋市吾平町上名7312番地
TEL0994-58-7171 FAX0994-58-8363
<http://www.shochu-kojika.jp>
お酒は20歳を過ぎてから。

恒例！夏の公開講座 スポーツ3講座 開催

鹿屋体育大学では、夏休みを利用して短期集中型で公開講座を毎年開催しています。



「バスケットボール・サマー・キャンプ」は、「I」として7月15日～17日に、「II」として7月21日～23日に開催されました。遠くは山口県のミニバスケットチーム7名を始め、中学生総勢74名が参加しました。講座は、鹿屋体育大学バスケットボール部顧問教員及び部員が講師の少人数グループに付く形で、昼間の練習から食事や洗濯までのサポートをきめ細かく行いました。受講生からは大学生が日頃行うようなプログラムの練習を体験できて「楽しく丁寧に教えてもらってわかりやすかった」との声が多く聞かれました。



「バレーボール・サマー・キャンプ」は、8月2日～4日、遠くは屋久島の小学生が14名、宮崎県から小・中学生が14名など県内外から総勢約110名が参加して開催されました。講座は、鹿屋体育大学バレーボール部顧問教員と部員が総動員で運営。ウォーミングアップから各技能の反復練習、試合形式の練習に加え、暑い中でこれぞという子供たちへモチベーションアップの声かけまで真心こもったおもてなしの内容で開催されました。参加者は、笑顔の中にも真剣に練習ができ、「大学生のプレーが見られて刺激を受けた」「違う学校の仲間が増えてうれしかった」との声が聞かれました。



「青少年女子楽しいマリンスポーツキャンプ」は、錦江湾を臨む同大学海洋スポーツセンターにおいて7月25日～27日に開催され、遠くは静岡県からの1名を含む小学生21名が参加しました。活動は学生スタッフがリーダーとなった3つのグループに分かれて行われ、①ヨット、②カヌー&シュノーケリング、③サーフボード&スタンドアップパドルボードをグループごとに体験。自然に囲まれた穏やかな錦江湾の同センターで日頃体験できない多種多様なマリンスポーツを体験した子供たちからは「来年もまた来たい」との声が聞かれ、海洋スポーツを十分満喫した様子でした。

普通救命講習を開催

鹿屋体育大学では、7月20日に教職員を対象とした「普通救命講習」を開催しました。

この講習は、大隅肝属地区消防組合中央消防署から講師を招き、救命に必要な応急手当の方法について理解させることを目的として実施したもので、講習は、応急手当の目的とその必要性についてDVD視聴を行った後、人形を用いて心肺蘇生法及びAED（自動体外式除細動器）の使用法について実技指導を中心に行われました。初めはぎこちなかった参加者も、時間の経過とともに動作もスムーズになり、また、講師への質問も積極的に行うなど、体育大学の教



交通安全、生活安全および女性に対する安全講習会を開催

鹿屋体育大学では、7月5日と12日に学生・教職員を対象とした交通安全、生活安全および女性に対する安全講習会を開催しました。

この講習会は、交通安全意識の醸成と高揚を図り交通事故防止に努めること、薬物乱用や盗難、サイバー犯罪等の危険性を認識すること、性犯罪被害を防止し、女子学生等の防犯意識の高揚に努めることを目的としており、2日間で647名が参加しました。

鹿屋警察署交通課と生活安全刑事課から講師を招き、県内で起きた交通事故や薬物使用、盗難等



硬式野球部

おすみくん家スポーツキャンプで中学生を測定・指導

7月16日～17日、「おすみくん家スポーツキャンプ」及び「第7回少年野球教室」が開催され、鹿屋体育大学硬式野球部が、参加した中学生の測定・指導を行いました。

このキャンプは、「高度な測定機器による諸調査を実施し、その結果を踏まえたトレーニング法によるスポーツ技術の向上を図ることにより、青少年の自立を支援すること」を目的に、おすみくん家と鹿屋体育大学硬式野球部が協力して開催されたもので、鹿児島県内の中学校6校から約100名の中学生が参加しました。

1日目は、鹿屋体育大学スポーツパフォーマンス研究棟にて、ハイスピードカメラやスイングトレーサーなどの機器を用いてフォームチェックやスイングスピードの計測等、さらに簡易貧血チェックなどの計15項目の測定が行われました。また、2日目は同大野球場にて野球教室が行われ、様々なプレーのコツや注意点について、大学生から中学生へ個別指導が行われました。

課外活動団体紹介



男子バレーボール部

私たち男子バレーボール部は、顧問の濱田幸二先生の指導の下、日々練習に励んでおります。濱田幸二先生は主に女子バレーボール部を指導されていますが、自分たちの相談や悩みに対して親身になって指導をしてくださいます。

私たち男子バレーボール部では、部員全員にチームの一員としての自覚を持たせるためにそれぞれに役割を持たせ、試合に勝つことだけでなくチームマネジメントや大会運営など行うことで、将来に役立つような経験を積むようにしています。また、アナリスト活動によりチームや個人の課題を明確にすることで、パフォーマンスの向上に繋げるようにしています。

今年度は春季九州リーグではレギュラーラウンドで勝ち上がり、上位4チームのリーグ戦まで行き、ここ数年破ることのできなかった上位

3チームの壁を破り、結果3位となりました。今後行われる秋季九州リーグでは1部リーグ優勝、12月に行われる全日本インカレではベスト8を目標に頑張っていきたいです。

夏場にかけてはビーチバレーを中心に日々活動しています。ここ数年は全国優勝できず、良い結果でもベスト4で終わってしまうことが多いので、今年こそは優勝を目指して頑張っています。

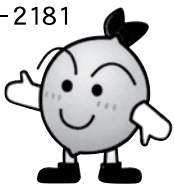
現在は4年生3名・3年生1名・2年生3名・1年生2名計9名と少人数ではありますが、濱口隆史主将を中心に一人一人が日々成長し自分の役割をしっかりと果たすべく、互いに切磋琢磨し日々練習に取り組んでいます。

今後とも鹿屋体育大学男子バレーボール部の応援をよろしくお願い致します。

あなたの町に、レモンガス

株式会社レモンガスかこしま 鹿屋支店

鹿屋市大浦町11423番地1 0994-42-2181



★その日のスケジュールに合わせて1時間おきにダイレクト送迎 忙しい学校生活の強い味方です!! ★提携会社による分割払いも月々5000円からご利用になれます

心豊かな車社会を願う 運転免許のことなら 寿自動車学校

ご予約・お問い合わせ TEL 0994-43-2627 E-mail: info@kotobuki-ds.jp 〒893-0013 鹿児島県鹿屋市札元1-13-30 ホームページURL http://kotobuki-ds.jp 県公安委員会指定教習所(技能試験免除)

何か物足りない、何か決め手に欠く、そんな“あと一歩”をお手伝いします。

ヒューマン印刷に贈る 株式会社 新生社印刷

〒893-0013 鹿児島県鹿屋市札元1-22-34 TEL 0994-43-2238/FAX 0994-43-7541 URL http://www.shinsei-p.co.jp E-mail kan@shinsei-p.co.jp

汲取の御注文 浄化槽の管理



水質保全に 全力投球 株式会社 西日本浄化サービス 代表取締役 田中ふみ子 鹿屋市 許可 鹿屋市王子町4531-2 TEL (0994) 43-3425

スポーツパフォーマンス研究棟だより

第8回

施設見学紹介(松尾 彰文教授)

スポーツパフォーマンス研究棟では、測定を行うだけでなく、施設見学も受け入れています。昨年度は、鹿屋市内をはじめとする鹿児島県内の方々や、県外、海外(韓国、台湾、イギリス、フランス等)の方々など、173件、延べ1,075名が見学に来られました。小中学生や高校生の進路学習や、自治体の研修の一環、スポーツに携わる団体や他大学の教員などの見学が挙げられます。見学を希望される方は、大学ホームページの施設見学のご案内(<http://www.nifs-k.ac.jp/outline/facilities/visitor.html>)をご覧ください。

また、毎年秋季に行われる本学の学園祭である「蒼天祭」では、大学開放事業の一環としてスポーツパフォーマンス研究棟の体験・見学ツアーを行っています。昨年度は50名程度の方が参加してくださり、希望者は50メートルのフォースプレート走路を走り、バッテリーランニングの様子などをハイスピードカメラで撮影



昨年度の「蒼天祭」での体験・見学ツアーの様子



しました。この事業では事前の申し込みは必要ありませんので、ぜひ参加ください。なお、今年度の蒼天祭では、11月12日(日)に体験・見学ツアーを予定しています。

日本最大のスポーツ・健康産業総合展示会「SPORTEC2017」に出展

鹿屋体育大学は、7月25日(土)の3日間、東京ビッグサイトで開催された、日本最大のスポーツ・健康産業総合展示会「SPORTEC2017」に出展しました。今年度は約800社が出展しており、来場者数は3日間延べ50,972名(SPORTEC事務局発表)ありました。同大出展ブースでは、受託・共同研究等の産学連携に関する広報を目的とし、産学連携広報チラシ、大学リーフレット、スポーツパフォーマンス研究棟パンフレット等を配布し、共同研究の実績や研究施設の紹介などを行いました。同大ブースを訪れた来場者からは、大学の施設、産学連携活動の成果



闘いのスケジュール 10月

- 10日・平成29年度全日本大学対抗テニス王座決定試合(～13 東京/有明テニスの森)
15日・第53回全日本学生自転車競技トラック新人戦・西日本大会(奈良/奈良競輪場)
20日・第33回U20日本陸上競技選手権大会(～22 愛知/パロマ瑞穂スタジアム)
・2017ジャパンカップサイクルロードレース(～22 栃木/宇都宮市内)
21日・第25回全日本学生セパタクロ選手権大会(～22 埼玉/久喜市第二体育館・幸手市民文化体育館)

- 28日・平成29年度全日本学生柔道体重別団体優勝大会(男子19回 女子9回)(～29 兵庫/バイコム総合体育館)
29日・第65回全日本学生剣道優勝大会(東京/日本武道館)
・第35回全日本大学女子駅伝対校選手権大会(宮城/弘進ゴムアスリートパーク仙台 他)
31日・第82回全日本学生ヨット選手権大会(～11/5 福井/若狭和田マリーナ)

学内行事 10月

- 1日 開学記念日
2日 授業開始
小クラス懇談会(～3日)
学内交通安全指導(～5日)
履修登録変更期間(～16日)
13日 AO(SS)入試第2次選考
14日 第2回大学説明会
23日 大学院修士課程入試
24日 大学院博士後期課程入試
下旬 なんでんかんでん語ろう会

闘いの記録 7月

【男子バレーボール】
◆九州大学ビーチバレー男子選手権大会(7/22～7/23 熊本県/芦北町マリナパーク)
1位 二宮・岩本

【水泳】
◆第77回九州学生選手権水泳競技大会(7/8～7/9 鹿児島県/鹿児島市鴨池市民プール)
▽男子

100m自由形	2位 古賀 圭一郎
200m自由形	2位 古賀 圭一郎
400m自由形	1位 小川 祐馬
	3位 可徳 圭秀
1500m自由形	1位 小林 祐馬
	2位 佐貫 吾省
	3位 可徳 圭秀
100m背泳ぎ	3位 富田 修平
200m背泳ぎ	2位 黒川 真吾
100m平泳ぎ	1位 宮澤 祐太
	3位 脇園 樹
200m平泳ぎ	1位 脇園 樹
200mバタフライ	1位 野崎 充
200m個人メドレー	2位 田崎 竜成
400m個人メドレー	1位 野崎 充
400mメドレーリレー	2位 富田・宮澤・野崎・岡本

▽女子	
50m自由形	2位 竹林 愛花
100m自由形	2位 石原 愛由
200m自由形	1位 石原 愛由
	3位 鳥居 真世
400m自由形	1位 川崎 碧
	2位 小川 真侑
800m自由形	1位 川崎 碧
	2位 小川 真侑
100m背泳ぎ	1位 山口 藍李
	3位 川崎 涼夏
200m背泳ぎ	1位 山口 藍李
	2位 川崎 涼夏
100m平泳ぎ	2位 五十嵐 陽美
200m平泳ぎ	2位 五十嵐 陽美
100mバタフライ	1位 小林 瑠那
200mバタフライ	1位 小林 瑠那
	2位 寺田 奈央
200m個人メドレー	1位 早水 柚香子
400m個人メドレー	1位 早水 柚香子
400mフリーリレー	1位 小林 幸・石原 幸
800mフリーリレー	1位 石原 幸・小川 幸
400mメドレーリレー	1位 山口・五十嵐・小林・石原

【剣道】
◆第65回全日本学生剣道選手権大会(7/23 大阪府/エディオンアリーナ)
▽男子
◆第51回全日本女子学生剣道選手権大会(7/22 大阪府/エディオンアリーナ)

2位 松本 智香
8位 富永 比奈野
【漕艇】
◆平成29年度関西選手権漕大会(7/1～7/2 大阪府/府立漕艇センター)
一般女子シングルスカル
3位 四方 美咲

【自転車競技】
◆第58回全日本学生選手権トラック自転車競技大会(7/1～7/2 静岡県/伊豆ベロドローム)
▽男子

スプリント	2位 堀 航輝
インディヴィデュアル・パーシュート	1位 松本 憲斗
マディソン	5位 徳田・長松
	6位 黒枝・阿部
ポイントレース	5位 阿部 将大
▽女子	
500m T T	7位 橋本 優弥
ポイントレース	2位 橋本 優弥
	5位 西島 叶子
スプリント	3位 西島 叶子
インディヴィデュアルパーシュート	2位 橋本 優弥

◆2017 Japan Track Cup I&II(7/1～7/2 静岡県/伊豆ベロドローム)
▽女子

エリートオムニウム	2位 橋本 優弥
エリートマディソンI	1位 橋本 優弥※
エリートマディソンII	1位 橋本 優弥※
ケイリンII	8位 西島 叶子
※は他団体選手との出場を示す。	
◆第4回JICF国際トラックカップ自転車競技大会(7/15～16 長野県/松本市美鈴湖自転車競技場)	
▽男子	
4km個人追い抜き	3位 阿部 将大
スプリント	5位 堀 航輝
	6位 真鍋 智寛
ケイリン	8位 釘尾 真幸
30kmマディソン	4位 阿部・長松
タンデムスプリント	2位 釘尾・堀江
1kmタイムトライアル	5位 堀 航輝
オムニウム	6位 松本 憲斗
チームスプリント	2位 堀・岸田・真鍋
▽女子	
500mタイムトライアル	1位 西島 叶子
ケイリン	3位 西島 叶子

学生宿舍経費の納付について

平成29年度後期分の学生宿舍経費は、下記のとおり銀行口座引落を行いますので、よろしくお願いいたします。

- 銀行口座引落日: 10月12日(木)
前日までに引落口座へ入金してください。
- 学生宿舍経費: 後期分(平成29年10月分～平成30年3月分)

寄宿料	25,800円(4,300円×6ヶ月)
運営費	57,000円(9,500円×6ヶ月)
計	82,800円
- 問い合わせ先: 鹿屋体育大学 学生課生活支援係 TEL 0994-46-4888

事務局から

本財団の賛助会員制度は、平成元年四月に発足しました。年会費(寄付金)は一口企業三万円、個人一万円からです。本財団は、公益財団法人として認定されています。本財団に対する年会費(寄付金)につきましては税法上の優遇措置があり、二千元を超えるご寄付につきましては、その超える額について所得税の寄付金控除の対象となります。

※年会費は、振り込みもしくは現金で受け付けております。
振り込みの場合は、次の金融機関へお願いいたします。
・鹿児島銀行鹿屋支店(普)九三二〇六七
・鹿児島相互信用組合西原支店(普)三三三八二二
・鹿児島相互信用金庫西原支店(普)〇〇四三八〇

△口座名義
公益財団法人 鹿屋体育大学学術・スポーツ振興教育財団
理事長 風呂井敬
本財団の活動の趣旨をご理解いただき、関係各位の格別なる御高配をお願い申し上げます。

授業料の納付について

平成29年度後期分授業料は、下記のとおり銀行口座引落を行いますので、よろしくお願いいたします。

- 銀行口座引落日: 10月27日(金)
10月26日(木)までに引落口座へ入金してください。
- 授業料(半期分): 267,900円
- 問い合わせ先: 鹿屋体育大学 財務課出納係 TEL 0994-46-4840

鹿屋体育大学 学園祭・大学開放事業

蒼天祭

2017.11.11-12



「一般」
カイコー(株) 様 (三万円)